

第3号特集！ 「課題研究発表会」



課題研究は3年生の必修科目です。今まで農林科で学んできたことの中から、自ら課題を設定し調査・研究または制作を行い、最後にその成果を発表するという、生徒が自分で1から作り上げていく授業内容です。今までは課題研究要旨集や農林科紀要という冊子としての発表だけでしたが、2月3日に農林科で初めての課題研究発表会が行われました。一つ一つ計画を立てて、試行錯誤（しこうさくご）しながら進めてきた研究内容を在校生や保護者、先生方の前で発表しました。その概要と様子をお伝えします。

鈴木君 テーマ ~登山道入口花壇の製作

(東京ふれあいロードプログラム)~

<研究内容>

この花壇(かだん)は東京ふれあいロードプログラムの一環として大島高校農林科で担当しています。一年草のポット苗を栽培し6月と11月の計2回花壇を製作する内容です。1学期は春まき一年草を使い、2学期は秋まき一年草を使いました。さらに2学期は、大島にちんだ花壇のデザインを考案しました。実際には2学期はツバキのデザインとしました。

1学期はニチニチソウ、マリーゴールド、ポーチュラカ、ヒャクニチソウ、サルビアを定植しました。直線を組み合わせ合わせたシンプルなデザインでした。

2学期は、キンセンカ、パンジー、ハボタンをツバキのデザインで定植しました。1学期と違って、曲線など複雑なデザインなので作業が大変でした。



1学期完成した花壇

栗田君 テーマ ~小学生への農業指導~

<研究内容>

今回の課題研究の目的は、小学生に野菜作りの楽しさを知らせること、どのように野菜が育って行くのかを知らせることです。アンケートや児童達の様子から達成できたことが分かりました。しかし、新鮮な野菜の美味しさを知らせるという目的は達成することができませんでした。私はこの原因を、トマトの摘果(てきか)をしなかったからだと思います。それはすべての児童に必ずトマトを食べてもらうために、数多く果実をならせたことが、味を薄るにつながったと考えました。

私自身、人前で話すことが苦手なので苦労しましたが、収穫で児童達が笑顔で作業し、持って帰る姿を見て、この課題研究をして良かったと思いました。児童達には、今回の課題研究で学んだことを少しでも活かしてもらえればうれしいです。



小学生に作業を教える様子

柳瀬君 テーマ ~羊毛断熱材の効果~

<研究内容>

僕は、農林科の生産品販売所を夏涼しく、冬は暖かくすることを目的に、羊毛を使った断熱材について研究しました。まず、断熱材の仕組みや施工方法など調べました。それを参考に、羊毛を詰め込んだ箱を「羊毛断熱材」として、販売所の縮小モデルである物置を用い、実験しました。また、冬の寒さ対策では、基本的に断熱材を取り付けた方が室温が高くなりましたが、風などの影響で室温が下がってしまう時もありました。

僕はこの研究を通じいろいろなことを学び、特にリサイクルや省エネのことを改めて意識できるようになりました。

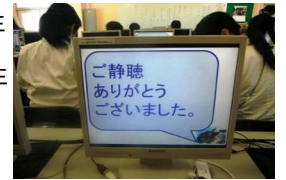


羊毛断熱材を設置した物置と、何も付けていない物置の比較

課題研究発表会の感想(要約)

- ・3人とも堂々とゆっくりはっきり発表できていて素晴らしかった。(教員)
- ・生徒が生き生きと、そして苦労しつつも頑張っている様子がわかった。(3年生保護者)
- ・課題研究を行うには、どの分野においても先の事を考えた計画がとても大切であると思った。(2年生)
- ・自分が再来年やるとしても、先輩の様な発表ができるように頑張っていきたい。(1年生)

3年生はコンピュータを活用し、堂々とした態度で発表をしていました。在校生は真剣に聞き入り、これから自分達が取り組む、課題研究の参考にできたと思います。来場者も3年生の保護者の方々をはじめ、担任の先生、普通科の先生など11名見え、小さいながらも充実した発表会になりました。



学校祭！農林科の取り組み報告

今回の学校祭で、農林科販売企画の中心になって働いてくれたのは2年生です。装飾など案を出し合って、計画を進めました。自分達のクラス企画の合間に看板を作ったり、プランターに花を植えたり、ゴジラのトピアリー(形に刈り込んだ木)を手入れしてくれたりしました。

頑張った成果を、当日見に来てくれた人も多かったと思います。来年度は更にグレードアップした学校祭にしたいと思っています。

農林科学校祭担当教員より

編集後記

「農林科通信」を作成するにあたり、なるべく生の生徒の声をお送りしようと、農林科3年生に原稿を書いてもらいました。どの生徒もこころよく引き受けてくれて、真剣に取り組んでくれました。編集者としては、そのような生徒に支えられ「農林科通信」を創刊することができたのだと思っています。

来年度も引き続き生徒の取り組みを中心にお伝えしていきますので、これからも楽しみに。

